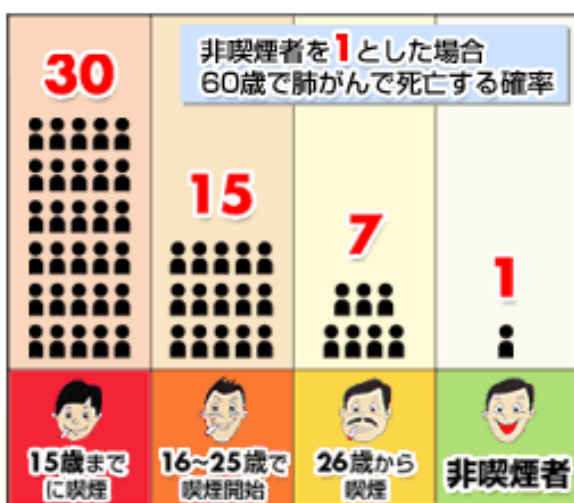


週刊 タバコの正体

タバコを何十年も吸い続けると、かなり高い確率で病気になります。その種類は下の表のとおりで、身体のいたる所に影響し、“がん”だけでも10種類以上もあります。

喫煙者本人への影響 富永祐民：日本医師会雑誌 116 (4) 332, 1996、日医ニュース第845号より

分類	急性影響・症状など	慢性影響・疾患など
呼吸器系	せき、たんなど	慢性気管支炎、肺気腫、呼吸機能障害
循環器系	血圧上昇、心拍数増加、末梢血管収縮、循環障害、手足のしびれ感や冷感、肩こり、首のこり、まぶたの腫れなど	虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）、大動脈瘤、末梢血管閉塞症、脳血栓、くも膜下出血
消化器系	食欲低下、口臭など	胃・十二指腸潰瘍、慢性萎縮性胃炎、歯周病、口内炎、白斑症、クローン病、肝硬変
がん		肺がん、喉頭がん、口腔・咽頭がん、食道がん、胃がん、肝臓がん、膵臓がん、腎盂がん、尿管がん、膀胱がん、子宮頸がん
中枢神経／感覚器系	知的活動能低下、睡眠（就眠）障害	脳萎縮、アルツハイマー病（?）、白内障、難聴
その他		免疫機能低下、糖尿病血管合併症、骨粗鬆症、皮膚のしわ増加、体重減少、外科手術の予後不良
全身影響	健康水準の低下	寿命短縮、老化促進



君たちとタバコと肺がんの話、
がん研究振興財団

そして、最悪の場合その病気で命を落とす可能性も高くなります。例えば、君たちの年代でタバコを吸い始めると、肺がんで亡くなる確率が、60歳になった時点で吸わなかった人の30倍にもなってしまいます。

タバコは、成長過程の君たちの身体には致命的なダメージを与えてしまうのです。人生で一番充実している期間に、何百万円もの大金をはたいてタバコを買い続け、自分の命を縮めてしまう訳です。

それを知ったうえで、吸い始めてしまうような馬鹿げた事はしないはずですよ。

産業デザイン科 奥田 恭久